

Social Distance を保つための公開コンペ 「はなれてつなぐ」

B 部門(技術提案部門) 審査結果

2020/9/30

B 部門(技術提案部門)審査委員長
阪上公博(工学研究科教授)

B 部門(技術提案部門)

最優秀賞

恵村健太郎、青木啓晃、桐野江高太、柳生遥、鷺野海、西原宗太郎、松井菜摘
「Social Mile Post ~はなれてつなぐ一里塚~」



提出された案のイメージ図(提出された pdf より抜粋)

佳作

なし

本コンペティションは、大学キャンパスという地域の憩いの場でありながら実験的な取り組みを
実践可能な空間を題材とし、ポストコロナ時代を見据えた「はなれてつなぐ」アイデアを募集し、
かつすぐれた案の実現をサポートするとともに、その案の実効性を評価することを目的としたもの
である。特に技術提案部門は、社会的距離を保ちつつ良好なオープンスペースを実現するための機
械・電気電子・応用化学・情報系あるいはそれらの融合等の技術的な提案を募集したものである。

7月14日に本コンペティションはアナウンスされ、9月7日の締め切りまでに3点の応募案が提
出された。これに対し、技術提案部門の7名の審査委員(磯野吉正、北村雅季、阪上公博、黒木修
隆、高田暁、山邊友一郎、鈴木広隆)が審査を行った。まず1次審査では、デザイン性、敷地との
整合性、独創性、実現性、普及性の観点から1~5の5段階で評価を行った。続いて2次審査では、
遠隔会議で7名の審査委員がそれぞれ講評を行った。最優秀賞を受賞した案以外には、画像合成を
利用した案、ARを利用した案が提出されており、これらの案の実現可能性の高さを評価する意見
もあったが、技術的新規性が十分ではない、スマートフォンのアプリをインストールするのはハー
ドルが高い、この敷地で行う意義が弱い、という意見が支配的であった。これに対し、最優秀賞の
案は、安全性の問題を指摘する意見もあったが、技術的な新規性や実現した場合にこの場所の魅力
が向上することを評価する意見が多く、1次審査で最高得点を獲得した本案を最優秀賞とするこ
ととなった。佳作については、佳作に該当する案はないと判断された。

なお、本案に沿ったポールの設置等には、材料や設置方法などを管理者と十分調整するよ
う要望することとなった。最優秀賞案の全体の pdf へのリンクを下記に示す。

B 部門(技術提案部門)

最優秀賞

恵村健太郎、青木啓晃、桐野江高太、柳生遥、鷺野海、西原宗太郎、松井菜摘

[「Social Mile Post ~はなれてつなぐ一里塚~」](#)